

## 第48回 広報まつりのお知らせ

詳しくは10月頃に各幼稚園・小・中学校へお送りいたしました「募集要項」をご参考ください。現時点での応募概要は下記のとおりです。

- 1.募集期間 令和7年11月14日(金)~12月26日(金)
- 2.対象作品 令和7年1月~12月までに発行した広報紙(Web・PDF・すぐーる配信も含む)の中から1点
- 3.応募部門 ①審査部門 審査団体毎に最優秀賞・優秀賞(予定)を決定し表彰  
②展示のみ(審査対象外)
- 4.審査基準 ①「PTA活動」の紹介  
②積極的な企画性・アイデアが見られるか  
③全体(見やすさ・読みやすさ)のバランス

広報紙の貸し出しを行っております。

過去数年分の受賞広報紙は、PTA会員の方に貸し出します。貸し出しが希望される方は、札幌市PTA協議会事務局までご連絡ください。



教育長賞最優秀賞  
稲積小学校(かわらばん)

第141号12月12日発行

# PTA さっぽろ

SAPPORO PTA

■編集・発行:札幌市PTA協議会 広報委員会  
■ホームページ <https://sapporo-pta.gr.jp/>  
■e-mail [shipikyo@sapporo-pta.gr.jp](mailto:shipikyo@sapporo-pta.gr.jp)  
〒063-0051札幌市西区宮の沢1-1-10  
札幌市生涯学習総合センター3F TEL.(011)671-2371  
■印刷:株式会社OK印刷

QRコード

## 札幌市PTA協議会 第48回 広報まつり

11:00~ 広報紙のパネル展示をするよ  
13:00~ キャラクターと写真を撮ろう  
13:00~ ステッカー プレゼント  
13:00~ クイズラリー 行うよ

2026.2.22(日) ※入場無料・入退場自由

第1部:広報まつり表彰式 11:00-12:00  
第2部:広報イベント 13:00-15:30  
(パネル展示・区キャラクター集合・クイズラリーなど)

場所:札幌文化芸術交流センター  
2階SCARTSスタジオ1.2  
札幌市中央区北1条西1丁目

札幌市PTA協議会 広報委員会 [shipikyo@sapporo-pta.gr.jp](mailto:shipikyo@sapporo-pta.gr.jp)

## 令和7年度 札幌市PTA協議会 研修セミナー

今年度の札幌市PTA協議会研修セミナーでは、気象予報士・清水秀一さんをお迎えし、天気と防災をわかりやすく学ぶ時間をご提供します。親子で楽しめるクイズコーナーもあり、日々の備えを見直すきっかけに。参加無料・定員200組。ぜひお気軽にお申し込みください。

●日時:令和8年1月10日(土)  
●場所:ちえりあホール1階  
●開演:10:00~12:00

お申し込みは  
こちら

QRコード

## 令和7年度 区P連交流会

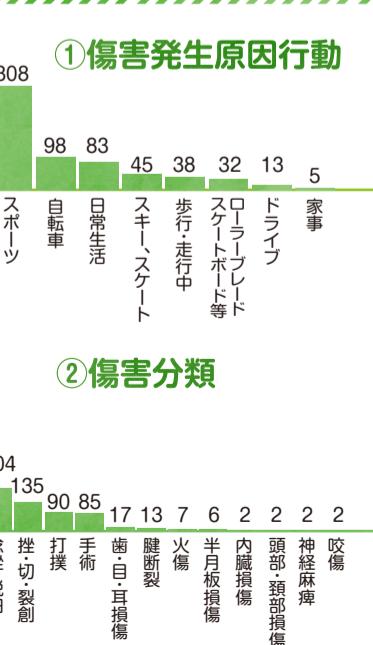
9月22日に今年度の区P連交流会が開かれ、「TAKE OUT! 知りたい10区の今!!」をテーマに、区を越えた8グループで活発な事業企画会議が行われました。参加者からは「普段思いつかないアイデアが生まれた」「10区のつながりを実感できた」「他区の熱量や活動を知り刺激になった」など、前向きな声が多く寄せられました。グループごとの企画づくりを通して、多様な視点や魅力的な発想が飛び交い、「自分の区でも取り入れてみたい」「実現につなげたい」といった意欲的な感想も見されました。参加者同士が顔を合わせて語り合うことで視野が広がり、PTA活動の意義を改めて感じられる貴重な時間となりました。

●学童の学校管理下外

学校管理下外での「けが」について、共済金給付請求件数(2025年4月1日から9月30日までの発生件数)・発生原因行動・傷害分類を報告します。

①(傷害発生原因行動) ②(傷害分類)

けがの内容も多種にわたり、特に骨折が著しく多く614件をかけて、けが全体会の約52%と極めて高い比率です。



## 傷害状況調査報告

PTA共済会から

共済期間の変更について	
令和7年度	6月1日~翌5月31日
令和8年度(移行期間)	6月1日~翌3月31日
令和9年度	4月1日~翌3月31日

○上記の表通り令和9年度から共済期間が4月1日から翌年3月31日になります。(本年度の定時社員総会で承認されました)

○共済期間が4月始まりになることに伴い令和8年度(来年度)は移行期間となります。加入の契約に関わる諸手続き等の説明会を開催し周知を図ります。ご理解とご協力をお願いいたします。

交通事故は、25件でした。自転車と車の事故では、大きながにつながることが多く、今年度も重大事故が発生しています。また、自転車事故では、道路の段差や溝での転倒が多くなっています。自転車を使用するにあたり、使用の開・終期をはじめ、使用範囲や時間帯、整備状況、乗り方、ヘルメットの着用など、保護者の皆様には日常的に指導していただき、子どもたちの安全に配慮していただきたいと思います。